

第4回「獅子踊りを調べ、獅子頭を作る」

地域の人々が昔から大切に受け継いできた産物と文化が、米、藁獅子であることがわかった子ども達は、次の疑問が生まれました。「獅子は、いつから踊られるようになったのか？」「なぜ、男の人だけしか踊れないの？」

「獅子踊りにはどんな願いがこめられているの？」

「獅子頭は、何でできているの？」など。

獅子踊りのことを調べるためには、地域の人の話を聞く必要があります、学校に何度も来ていただき、写真を提供してもらったりしました。

また、ビデオカメラを持って、公民館長を訪ねました。

子ども達は、自分の調べたい課題であるため、とても意欲的に、周りに関わり合いながら、調べ学習を進めました。

そして次に、「獅子頭



「(祝)獅子できた〜!!」 ※土屋和美先生の田川教職員研究物展（1999年2月）から



を作る」ことに挑戦です。

子ども達が最も興味を持ったものが、獅子頭でした。

先生は、「踊りに挑戦してみよう！」とは言ったものの、道具は全くありません。

子ども達から、「先生！つくろう！」と言われ、やる気満々でした。

早速、役場から本物の獅子頭を借りて、子ども達に見せました。

地域の人にも相談に行き、子ども達のアイデアも大いに取り入れ、材料を準備しました。

一番むずかしい型の部分は、地域の人に作っていただき、子ども達みんなのアイデアと、みんなの手で獅子頭ができていきました。

9つの獅子頭を作るため、2〜3人のグループに分かれて作業し、かつこよく完成させるため、とても協力していきました。

「君、うまいっけぞ！」と、お互いの良さを認めあう姿もありました。

渡前小子ども獅子踊り今昔物語 渡前獅子踊りの歴史③

渡前獅子踊り保存会 太田功

8ミリ記録映画の製作とともに渡前獅子踊り保存会を昭和41年9月に発足させ、初代保存会長となった齋藤市之助氏は、完成した記録映画について、「伝統芸能としての文化財の保存と後継者育成の資料とすることを目的としながら教材性を失わないよう留意した」と記し、「記録性と映画の芸術性の板挟みとなり苦しい立場であった。特に出演者と製作者との違いに、どう歩み寄るかが問題だった」と心の内を吐露している。

昭和25年に大復活させ、総勢100名に及ぶ獅子団で近郷近在を20日間も周り、古くからの伝統芸能を知らし

めた側と、やはり同じ25年に「八栄島テアトロ・フレンド」として演劇青年愛好グループを立ち上げ、県青年大会で優勝、全国青年大会（日青協）で優秀賞を受賞した関係者が記録映画にかかわっていたことから、齋藤会長の悩んだ姿が伺える。

苦勞の甲斐あり、この作品はその年の山形県自作視聴覚教材コンクールで特選を受賞し、秀逸な作品として関係機関の眼にとまり、翌年の県芸術祭民俗芸能公演への出演につながったほか、その後ビデオ映像となり、お茶の水女子大の教授の目に留まることとなる。

（つづく）

温海地域の地域おこし協力隊 活動報告会 17日

「生きる力育む」教育活動に注目

温海地域で地域おこし協力隊として活動している鈴木けいさんの活動報告会が3月17日、開催されます。

令和8年3月に任期を終了を迎え、3年間の活動報告と、4月から引き続き温海地域で実施する活動が紹介されます。

鈴木けいさんは羽黒町出身で、鶴岡北高校、京都女子大学教育学部卒業後、自治体職員を経て、京都市ユースサービス協会に勤務。

令和5年5月に、地域おこし協力隊として温海地域にUターン移住しました。

令和2年から温海地域で進めている「生きる力を育む」教育の方針に基づき、中学生の学習を充実させる事業に携わってきました。

鈴木けいさんは、『広報つるおか』2023年8月号「人の情景 scene 07」に登場しています。

鈴木けいさんの活動報告会

期日：3月17日（火）

14:00～16:00

会場：温海ふれあいセンター

※申込不要・参加費無料

※申込不要・参加費無料

令和7年度 温海地域 地域おこし協力隊 活動報告会

2026. 3.17 (火)

会場：温海ふれあいセンター 14:00～16:00 (13:30開場)

地域おこし協力隊として温海地域で活動している鈴木けい隊員の活動報告会を実施します。令和8年3月に任期終了を迎えるにあたり3年間の活動報告と、4月から引き続き温海地域で実施する活動を紹介する予定です。当日は、活動報告に加え、ゲストを迎えてのクロストークもあります。地域おこし協力隊の活動を知りたい方、教育・地域づくりに興味がある方、是非お越しください。



鈴木 けい さん

3年間の活動の振り返りと、これから温海でやっていきたいことをお話しします。当日はスペシャルゲストとして、京都で共に活動したまちづくり実践者を招き、温海と京都のコラボトークを開催！3年間の感謝と、引き続きお世話になる温海地域への期待を込めて、報告させていただきます。

3年間で取り組んだこと

あつみ地域未来塾

「地域で育てる学び」

生きる力を育む教育

生涯学習事業の企画・運営

タイムスケジュール

14:00 開会

14:05 地域おこし協力隊活動報告

▶3年間の取組みと成果

14:45 温海×京都のクロストーク

「やりたい」が見つかるジモトの日常

～小さなコミュニティづくりの実践から学ぶ～

▶外部ゲストと語る「これからの学びと地域」

15:50 質疑応答

16:00 閉会

ゲスト紹介・活動内容




吉田 隆典 (よしだ たかまさ) さん

京都市の環境学習施設・市民活動センターの運営に携わり、一人ひとりが「居場所」と感じられる小さなコミュニティ作りを実践している。令和元年に鈴木と出会い、まちづくりの仲間として交流を重ねてきた。主な取組みに、若者の地域参画を促す「下京ローカルグッド」、被差別の地域の声を拾う「ハイパーローカルラヂオ」、シャッター商店街の日常を発信する「J」メディアプロジェクトなどがある。

当日は、プロジェクトメンバーの小谷くるみさん（京都市立芸術大学4年生）、山本愛佳さん（京都産業大学4年生）2名も参加し、取組みを紹介する。

主催・問い合わせ：鶴岡市（温海庁舎総務企画課）0235-43-4611

取組内容はこちら



偶見花

たまはなをみる

城貞（藤の花）

啓蟄尋朋見百華
如今保暖不用紗
合成塩化樹脂地
未到春時争発花

啓蟄 朋を尋ねて百華を見る
如今 暖を保つに紗 用らず
合成 塩化樹脂地
未だ春時に到らざるに争いて花を発く

春にはまだ寒さを感じる三月三日に 農家の友達の家訪ねて
ハウスの中に多くの花を見る。昔はビニールハウスもない時代に
薄地の絹布を寒さ除けに使用したが今は必要としない。
ビニールハウスがあるから まだ春の暖かさにならないのに
ハウスの中で 多くの花が咲き誇っている。



偶||思いがけず。啓蟄||陽暦三月五、六日。如今||今。百華||多くの花。
紗||薄絹布。発||開く。合成||有機化合物を人工的に作る。発||ひらく。
塩化||アセチレンと塩と水素を化合して出来る。ビニール。樹脂||天然の繊維に合成樹脂をかぶせて加工する。



どっちも許せネ

どんな法律でも通すことが出来る衆議院の自民党の数。その全員に届けたと言うんだよ。3万円のギフトセットをサ。そして大臣も含めて皆が言うんだト、法的に問題がないと。それは維新もだが。

▲金を事務所が出そうと、のし紙は高市個人名でしょ。なぜ問題がないんでしょうかネ。自分たちが自分たちの為に作った法律に、そんなことが出来る隙間を作っておいたって事かい。だとしたら、恐ろしい集団だ、彼らは。

▲それにしても許せる？政治と金の問題が終わっていないうちに、だよ。これも数の力？

▲しかし首相は、国民が物価高で苦しんでいるなか、そんな金は何時でも右から左ってわけネ。スーパーの値札が代わるのを待ち焦が

庁舎別の年少人口 (2月28日現在)

庁舎別0～5歳児の人口 2026.02.28：住民基本台帳							
年齢	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	合計
0	391	33	10	22	11	9	476
1	398	32	29	22	12	10	503
2	455	44	32	21	13	16	581
3	491	47	42	33	12	16	641
4	532	53	33	26	10	25	679
5	525	38	34	37	13	18	665

れて買物物をして国民の気持ちは判っていないって事だが、この度、首相の人氣に投票したそんな方々も、これは許せねえだろちゃ。

▲代って、沖縄の基地の問題だ。米国は、今作っている基地・辺野古が完成しても、普天間基地は返さないといい始めたゾ。世界一危険な基地だと日米が認めた普天間基地は、新しい基地が出来たら返還されると、長年日本は言ってきたんだが

▲新基地は、5回も知事選挙で民意の反対が確認されても政府は、辺野古の完成が普天間返還唯一の道だと建設を強行。それでいてこんな話だゾ。中国が何か言えば直ぐ反応しながら、米国のこれには小泉大臣が、日米の理解に齟齬（そご）はないの。一言だが、話が全く違うんだから国民にはウソと言う事？

(石川)